

# 脂肪壊死症



## ◎脂肪壊死症とは

胃、腸管、腎臓、子宮などの周囲の脂肪が変性壊死し、硬い塊となる病気で黒毛和種等で多く発生します。

## ◎症状

硬くなった脂肪が、腸管を圧迫して、食欲不振、下痢や便秘を起こし発育不良や消瘦が発生しやすくなります。

また、生殖器周囲に発生すると、繁殖障害の原因にもなります。

## ◎食肉検査では

脂肪壊死がみられた場合、脂肪壊死及びその周囲部を一部廃棄します。

腎周囲での脂肪壊死の場合、ヒレ肉を圧迫して変性させることもあり、その場合は該当部を切除します。

## ◎原因

脂肪壊死は、急性腓壊死あるいは脂肪代謝障害によっておこるとされていますが、発生原因や発病のメカニズムは未解明な部分が多い病気です。

## ◎予防

良質な粗飼料の給与や、適度な運動が大切です。

リーフレットの内容に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

北海道東藻琴食肉衛生検査所

Tel:0152-66-2001 Fax:0152-66-3576

E-Mail: abashiriho.higashi1@pref.hokkaido.lg.jp

(迷惑メール防止のため「@」を全角にしています。メールを送る際は、半角に置き換えてください)

## 腸脂肪壊死症

Fat necrosis



北海道公衆衛生獣医師協議会

腸間膜脂肪織に帯黄白色調の壊死が観察されます。

## 腎脂肪壊死症



北海道東藻琴食肉衛生検査所

腎脂肪織において極端に硬度が増した壊死塊が観察されます。